

Gr	記載事項
A グ ル ー プ	・河内地域は小中大の河川がありますので、水に恵まれた地域です。よって、農村地域に適している。したがって、水生動植物の生息にも適している。よって、その保存は、自然保護団体Gの皆さんと行政一般市民が一体となり勉強、研究をするPTグループを立ち上げることに、意識改革を図っていく。
	・今後の森林伐採については、その地域の状況を踏まえて行政規制設置を。
	・環境を整えるには人の心で決まる。生活環境をよくすることは、そこに住む人で変えることができると思っております。したがって、環境関係に関する講習会や施設研修、専門家の先生の講義など地道に啓発していくしかない。
	・ホテルの飛び交う自然豊かなまち
	・農業と住環境がバランスのとれたまち
	・水と緑を守り安らぎがあるまち
	・自然と共存し触れ合えるまち
	・地元の人が自然の豊かさを大切に、誇りをもって守っていく活動をする。
	・森林にごみの不法投棄をさせない、清掃に力を入れる。
	・地場野菜や生産物にブランド化をすすめる。
	・かわちの自然を守ることと他県(都会)へのPRで地元を活性化
	・公園や遊歩道の安全確保、自然と触れ合う(ハーブ園など)ための創意工夫を。
	・子育てをする環境としては抜群の自然環境が整っている。
	・豊かな水と緑あふれる自然のなかで元気な子ども達の声が聞こえる地域のまち
	B グ ル ー プ
・旧動物園の跡地を公園または温泉施設を作り、高齢者がゆったり過ごせる場所を作る。	
・ふくろうの保護やホテルの住める地域を拡大して、ふくろうの里やホテルのまちにする。	
・農地の放棄地を減少させる施策を取り、家庭菜園の活用を促進させる。	
・水と緑に恵まれた自然豊かなまち	
・自然環境を活かした市民同士が触れ合える場を充実していく必要がある。	
・自然環境を現状維持し残し続けていく必要がある。	
・緑豊かな里山や清流を守り、みんなが楽しめる自然環境(農村風景)があるまち	
・フクロウやホテルが飛び交い子ども達の笑顔が溢れるまち	
・緑の多い地域づくり ・森を守り、みどり豊かな環境を地域でつくる。	
C グ ル ー プ	・豊かな自然を守り活かして、新鮮な水と空気とを味わえる「まち」
	・自然や水そして人を大切にすまちづくりが必要である。
	・豊かな自然を保全していく必要がある。
	・豊かな自然を壊すことなく有効活用していく必要がある。
	・昔をしのぶ白沢の榎や下ヶ橋河原の阿久津河岸の渡し等、歴史を学ぶ場所の提供をする。地域外からの訪問者増になる。(地域資源を活用した観光)
	・不法投棄のない美しいまち
	・自然にふれあい地域資源を大切にすまち ・自然環境を維持しつつ都市部と農村部との調和のとれた「まち」

テーマ『自然環境、都市環境』 資料提出結果【都市環境】
10年後の理想とする地域の姿

Gr	記載事項
A グ ル ー プ	・まちづくり計画策定に関する「アンケート調査」小学5年では、河内地区が好きでは、356人中304人が回答している。未来の子ども達はかわちの良さを肌で感じている。ドジョウやフナ、ホテルが住み着く水環境を守ることが一番大切なので、県環境機関と連携をとり計画的に推進していく。
	・都市型は、それぞれ住んでいる地区のルールを守ること。CO2削減に心がけた生活をする。公共交通の整備「現地域内交通」の利用促進への知恵を出す。
	・これからは河内の良さをみんなで考える。自分達のまちは自分達で発展させる。(例:河内で自慢できるものは、自然・美味しい物・楽しい所・記念になるもの・遊べる所・自慢の土産物・グルメ的食事がある・観光名所・河内のイメージ色・河内のブランドを開発して全国へ発信する。)
	・伝統文化や文化財等を活かした「まつり」のあるまち
	・事件・事故・災害のない安全なまち
	・岡本駅を中心に産業と住環境がバランスのとれたまち
	・子どもから高齢者までが共に教えあい、学びあえる生涯学習(スポーツも含む)の充実したまち
	・都市部に新しい伝統づくりのあるまち
	・都市と農村の良さを認め合い、共に誇れるまち
	・子どもから高齢者まで、頼れる交通網のあるまち
	・防犯力のある地域になるようパトロールと近隣の声かけ
	・交通マナーのあるまちづくりNo.1をめざす。(自動車、自転車同士の往来に気をつける)
	・地域マップ(見取り図)で見通しの良いまちづくり
	・駅前の活性化、美しい街並みを目指す。(商店街の復活)
	・高齢者にとってもやさしいまちに。(休憩スポットを多くつくるなど)
	・地域交流を楽しめるイベント、スペースを設置する。
・空き家の有効な活かし方を提案する。	
・誰もが安心安全に暮らせる思いやりにあふれるまち	
B グ ル ー プ	・西地域の大きな3つの団地は日常生活に必要な店もなく、空き家が多くなり、高齢者には住みにくい所になっているので、暮らしやすい地域にする施策をとる。
	・太陽ヶ丘団地の入り口はふたつの産業廃棄物の会社が倒産して、山積みで放置されている。行政が援助しないと解決しない。
	・自治会に入らない家が多くなり、地域のつながりが薄くなり、災害が発生した時に不安を感じる。特にひとり世帯の高齢者が多い。
	・健康で生活が楽しくなれるまち
	・文化財を活かし安らぎのある魅力あるまち
	・昔のような隣組関係(地域コミュニティ)を充実させていく必要がある。
	・公共交通を含め、地域内交通をさらに充実させ、外出しやすい環境にしていく必要がある。
	・住居地域をコンパクト化し、災害に強く安心して暮らせる安全なまち
	・高齢者対策が良く近隣住民との共生が整ったまち
	・地域の住民が地区内で就労できる産業や施設が整備されたまち
	・環境にやさしいまち
・地球温暖化対策に先進的な地域	
・自転車専用の交通帯を整備する。	
C グ ル ー プ	・身近な自然を活かした、ひとにやさしく生きやすい「まち」
	・都市部と農村地域の相互居住環境を整えるバランス・調和が図られる必要がある。
	・自然との融和のとれた環境を整える必要がある。
	・将来を考え、計画的に魅力のあるまちづくりを行っていく必要がある。
	・道路の整備に伴うバリア化の推進(高齢者、障がい者(特に車椅子)等の安心安全歩行や健康増進のための外出の機会の増)
	・憩い安らぎのある公園があるまち
	・まちなみ景観が美しいまち
・高齢者が安心して暮らせる「まち」	